

訂 正

「研究通信八六号」の研究会の報告と討論の部分に訂正および変更が下記のようにありますので、お手数ですが、お改め下さいますようお願い申し上げます。

なお、これは岩本由輝会員より御指摘いただいたものです。事務局の不行き届きを深くお詫び申し上げます。

頁	段	行	誤	正
一	下	十一	非所有、すなわち	非所有に対応する所有、すなわち
二	上	十二	行ったのである	行ったのである。
三	上	十六	確認され	確認され、
四	下	二〇	農家の側では、	農家の側では、
五	上	二〇	続けるから、	続けながら、
七	上	九	モノカルチユアがあ って、	モノカルチユアであっ て、
八	下	二	地方を色括	地方を包括
十一	上	十二	幕末―日露戦争後、	幕末―日露戦争期、
十一	下	二〇	資本主義の総府	資本主義の祖国
十二	上	五	工業製品にくつuitた	工業生産にくつuitた
十二	上	六	そういったものをもって	そういったものをみて
十二	下	十六	日露戦争になると	日露戦後になると
十三	上	八	資本に寄せつけられて	資本によって作られて
十三	上	十二	そこで反発したければ	一層発展がしたければ
十三	上	十八	つながりを分割的に 見て、	つながりを直接的に見 て、
十三	下	十一	女工が扱いにくい	女工を得にくい
十三	下	最終	ただ、我々	ただ、我々
十四	上	十	綿糸の輸入	綿糸の輸出
十四	下	十九	分割的所有の関係が 寄生地主制―小作 エンゲルスの	分割地所有の壊滅が寄 生地主―小作 エンゲルスも

頁	段	行	誤	正
十五	上	十四	日露戦の段階	日露戦後の段階
十五	上	十七	という形	を温存する場という形
十五	上	最終	過渡的な方で、	過渡的な地主の方で、
十七	上	六	ならないと出てこない。	ならないと出てこない。
十七	上	最終	非常に必強い	非常に心強い、
十七	下	八	労働権	用益権
十八	上	十五	考えていく。	考えていく必要がある。
十八	下	四	そういうものや	そういうものを
十九	下	十八	大谷随郎	大谷瑞郎
十九	下	十八	「日本の幕藩体制」	『幕藩体制と明治維新』